



アトムクス株式会社

2025年3月期

中間年次報告書

自 2024年4月1日 至 2024年9月30日

■ 株主の皆様へ



目次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 中間連結
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・
株式情報…… 6 頁

拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの2024年4月1日から2024年9月30日までの業績を取りまとめたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2024年12月

代表取締役社長 宮里 勝之

■ 営業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化により企業収益の改善や設備投資も堅調に推移し緩やかな回復基調で進んでいる一方、長期化しているロシア・ウクライナ問題や中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学的リスク及び原材料価格やエネルギー価格の高騰が続いており依然として先行きが不透明な状況が続いています。

このような厳しい状況が続いているなか、当社グループは生活者ファースト・顧客ファーストを徹底し外部環境が変化するなかでも環境に配慮した製品の開発を進めるとともに、高騰する原材料・エネルギー・物流コストを抑えるべく生産性の向上を行い利益確保に努めていますが、自助努力にて厳しい部分については、順次価格改定を行い対応しています。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高57億95百万円(前年同期56億41百万円)、営業利益1億4百万円(同48百万円)、経常利益1億7百万円(同58百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益59百万円(同24百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

〈塗料販売事業〉

汎用・床材塗料は、当社が主力顧客としている工場ユーザーの設備投資が引き続き順調に推移したこと、特に水性関連製品等の環境対応型製品が大きく伸長し、汎用・床材塗料ともに前年を上回りました。道路用塗料は、自転車・通学路対策関連製品は伸張したものの、舗装工事等の減少による材料の出荷及び施工機械が伸長せず前年を下回りました。家庭塗料は、ホームセンターの新規獲得と企画提案活動及びインターネット販売が順調に推移したため前年を上回りました。アトムレイズ（水性アクリルゴム系塗膜防水材）は、設計事務所、施工店へ積極的に営業活動を行っているものの工事案件が受注できず前年を下回りました。

この結果、当中間連結会計期間の塗料販売事業の売上高は前年と比べて1億45百万円増加し53億93百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

〈施工事業〉

床材工事は前年に比べ減少しましたが、子会社アトムテクノスで受注した工事が順調に進行しているため前年を上回りました。

この結果、当中間連結会計期間の施工事業の売上高は前年と比べて8百万円増加し4億1百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

■ 通期の見通し

2025年3月期の通期業績につきましては、経済活動は回復基調で進んでいくと思われませんが、長期的に続いている原材料やコスト増加等が懸念され、依然として経営環境は厳しい状況が続くことが予想されるため、売上高128億円（前連結会計年度121億22百万円）、営業利益4億円（同3億60百万円）、経常利益4億20百万円（同3億82百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益2億60百万円（同2億39百万円）を見込んでいます。

事業の概要

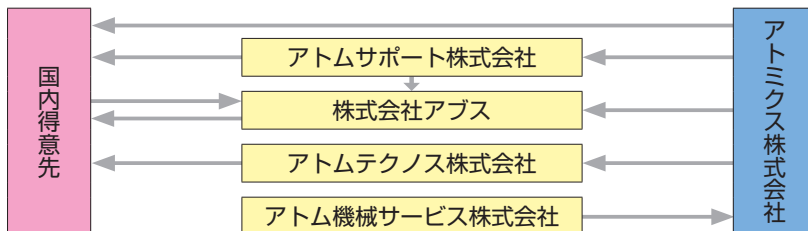
当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。
塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材の製造販売を行っています。

このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、物流業務を行っています。

また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

当社グループの構成



経営理念・価値基準

次の経営理念・価値基準のもと、研究開発・営業活動に取り組み企業価値の向上を図っていきます。

経営理念

1. 製品・サービスを通じて社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に向けて貢献する
2. 独創性に溢れた発想と高度な複合化技術によって市場を絞り込み、その市場でナンバーワン、オンリーワンになることを目指し価値を提供する
3. 会社の成長発展を通して、社員の幸福を追求すると同時に社員の自己実現を支援する

価値基準

安全 (Safety) ・ 安心 (Relief) ・ 快適 (Comfortable)

代表的な製品群は次のとおりです。

(1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化工法をはじめ、水性型、溶剤型、溶融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

(3) 床用塗料



工場や倉庫、店舗等の床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

(5) 水性防水材



環境負荷の少ない健康に優しい製品で、水性化技術の応用又アクリル樹脂を使用した水性防水材・水性外壁防水材として建物の長寿命化に貢献しています。

(2) カラー舗装材



高速道路の進入箇所や歩車道分離・自転車通行帯などのカラー化により、走行区分を明確にし、交通事故の防止に貢献しています。

(4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

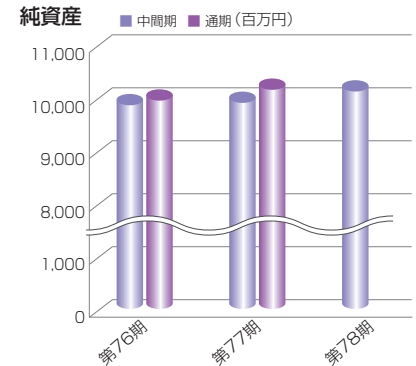
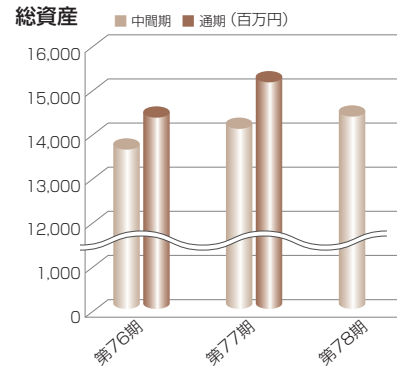
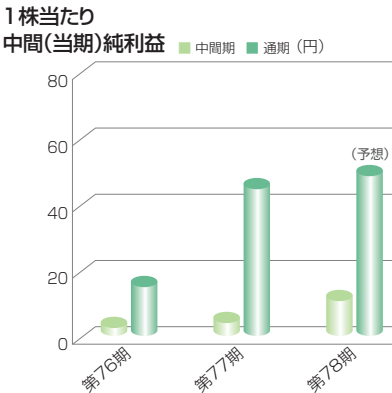
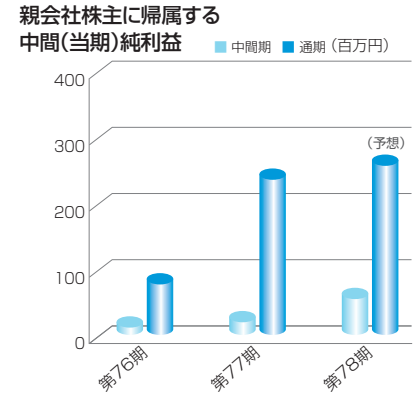
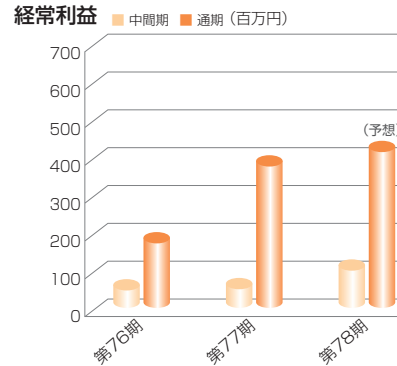
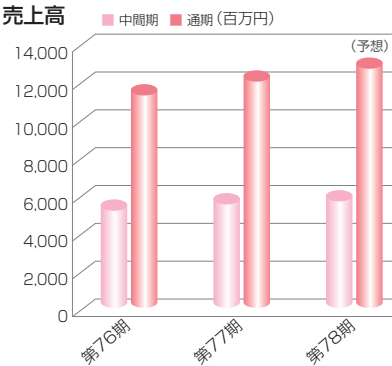
(6) 視覚障がい者用標示材



特殊な樹脂や骨材の配合で、耐候性、耐摩耗性に優れるとともに、滑りにくい表面加工によって視覚障がい者の安全な誘導に貢献しています。

業績の推移

当社グループの業績の推移



区 分	第76期 2023年3月期		第77期 2024年3月期		第78期 2025年3月期	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期 (予想)
売上高 (百万円)	5,306	11,391	5,641	12,122	5,795	12,800
経常利益 (百万円)	43	179	58	382	107	420
親会社株主に帰属する中間 (当期)純利益 (百万円)	16	81	24	239	59	260
1株当たり中間 (当期)純利益 (円)	3.06	15.39	4.54	44.96	11.18	48.87
総資産 (百万円)	13,668	14,389	14,137	15,190	14,413	—
純資産 (百万円)	9,894	9,983	9,940	10,188	10,155	—

中間連結決算報告（要約）

中間連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	前期末 (2024年3月31日現在)	当中間期末 (2024年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	9,303,218	8,456,239
固定資産	5,886,892	5,957,670
有形固定資産	4,784,985	4,951,134
無形固定資産	385,975	320,838
投資その他の資産	715,932	685,697
資産合計	15,190,110	14,413,910
(負債の部)		
流動負債	4,405,479	3,624,425
固定負債	595,964	633,633
負債合計	5,001,443	4,258,058
(純資産の部)		
株主資本	9,926,247	9,891,722
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	740,308	740,308
利益剰余金	9,142,675	9,107,154
自己株式	△ 996,736	△ 995,741
その他の包括利益累計額	262,420	264,129
その他有価証券評価差額金	251,182	254,485
退職給付に係る調整累計額	11,238	9,644
純資産合計	10,188,667	10,155,851
負債純資産合計	15,190,110	14,413,910

中間連結損益及び包括利益計算書

（単位：千円）

科 目	前中間期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間期 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	5,641,347	5,795,227
売上原価	4,189,210	4,262,584
売上総利益	1,452,137	1,532,642
販売費及び一般管理費	1,403,691	1,427,792
営業利益	48,445	104,850
営業外収益	12,220	18,200
営業外費用	2,121	15,297
経常利益	58,544	107,753
特別利益	249	49
特別損失	304	289
税金等調整前中間純利益	58,490	107,513
法人税、住民税及び事業税	22,928	22,443
法人税等調整額	11,372	25,571
中間純利益	24,189	59,498
親会社株主に帰属する中間純利益	24,189	59,498
その他の包括利益	26,587	1,708
中間包括利益	50,776	61,207

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科 目	前中間期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間期 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	321,165	546,413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 99,586	△ 174,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 138,410	△ 124,665
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△ 0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	83,168	247,403
現金及び現金同等物の期首残高	2,935,503	2,594,922
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,018,671	2,842,326



会社概要・株式情報 (2024年9月30日現在)

1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社
本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
創業 昭和12年2月
資本金 10億4000万円
従業員数 219名 (従業員数に嘱託社員を含めています)

2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区
支店 大阪府大東市
営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・
名古屋・広島・福岡
工場 加須・久喜・岡山

3. 役員

代表取締役社長 宮里 勝之
取締役 花形 裕透
富士田 学
鈴木 太亮
田中 滋子 (社外・独立役員)
常勤監査役 小川 博巳
監査役 上原 左多男 (社外・独立役員)
石川 伸吾 (社外)
執行役員 川端 裕之
織田 英樹

4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株
発行済株式の総数 7,242,000株
株主数 1,229名
大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
アトミクス取引先持株会	998千株	17.87%
東京中小企業投資育成株式会社	700	12.52
西川正洋	280	5.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75715口)	267	4.78
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	263	4.71
ナラサキライン株式会社	134	2.40
東洋テック株式会社	126	2.25
楠本化成株式会社	106	1.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	106	1.89
アトミクス社員持株会	104	1.87

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また持株比率は株式付与ESOP信託口が保有する267,600株を除いた自己株式(1,652,645株)を控除して算出しています。

5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主
確定日 3月31日
中間配当金受領株主
確定日 9月30日(中間配当を実施するとき)
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人・
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711(通話料無料)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同送付先 東京証券取引所
上場証券取引所
証券コード 4625
公告の方法 電子公告
URL <https://www.atomix.co.jp>
(やむを得ない事由により、電子公告
によることができない場合は、日本
経済新聞により公告いたします)

ATOM/x